

2024/2/26 鬼木まこと活動報告

能登半島地震の知見を原発政策に活かさせ

2月14日に開催された参議院資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会での一般質疑にて原子力規制委員会の山中委員長をはじめ政府に対して質問を行いました。

能登半島地震では家屋の倒壊、道路の寸断などによって想定されていた避難手段が利用できない状況が生まれました。今回は原発の安全性に重大な問題はなかったものの、万が一、災害時に原発事故が発生した場合の住民避難経路・手段の確保について、とくに高齢者や障がい者等の避難行動要支援者への対応の策定と見直しが必要と訴えました。他にも今回の能登半島地震によって明らかになった原発に関する課題への早急な対策と取り組みについて質しました。また、東京電力福島第一原子力発電所の汚染水処理に係わる事故がこの半年間で3度も発生していることから、今後約30年間にわたる汚染水処理が安全に行えるのかとの疑念が起きていることを指摘し、万全な対応を行うよう求めました。

地震大国であるわが国で原発稼働を進めるのであれば、政府は市民の安全・安心を最優先に対策を講じるべきと考えます。これからもしっかりと監視し、議論してまいります。